

(人の動き 男一九、三六四 女二〇、一五四 計三九、五一八 世帯二、九一九 九月末現在)



# 若い群像

パチパチとソロバンの音、そして計算器の音、丁定規や三角定規がせわしなく動く製図板の上。

細かい数字と設計図から、面積や積算計算をしているのは、木村いと江さん。

木村さんは、市内本町にある共栄コンサルタントに勤務する女性建築士さんである。

「小さい頃から、こういうものか女性に決められたような事務をとるといふようなことはいやでした。怒られるかも知れませんが、どうも単純に見えていやでした。」

ですから高校へ進学するときは、まっすぐ工業高の建築科へ入ったんです。

「建物の設計をする、自分の持っているアイデアや知識を、設計用紙の上で力いっぱい表現できる、それが、やがて実物となって形づくられる、憧れの二級建築士に合格した時は嬉しかったですね。」

「将来は生意気だけど一級建築士に挑戦してみたい、そして自分の事務所を開設してみたい。」

でも夢でしょうね。

その前に花嫁修業に取り組まなくちゃね。」と、いつか明るく笑った。

広報

あとい

'73 11 月号  
第188号